

Weekly Report

東京お茶の水ロータリークラブ



2024-25年度RI会長 ステファニー A. アーチック

ロータリーのマジック

第2580地区ガバナー 石川 彌八郎

隔たりを取り除き、「ご縁」を大切に

ロータリー活動を
最大限に楽しもう!

2024-25年度 クラブ会長 海江田 健司

本日の卓話

親子はねやすめの報告

NPO 法人親子はねやすめ代表理事・東京神田 RC 宮地 浩太様

- 司会進行
- 点鐘
- 奉仕の理想
- ニコニコボックス報告
- 会長報告
- 幹事報告
- 副会長報告
- 出席報告

- 和田 夏彦会員
- 海江田健司会長
- 木宮 雅徳会員
- 和田 夏彦会員
- 海江田健司会長
- 中野 広行幹事
- 山田丈夫副会長
- 和田 夏彦会員

今日は ROTEX の卓話を聞いてご理解をいただき、次々年度暖かく留学生を迎えていただければと思います。本日はよろしくお願いたします。



挨拶 次年度地区青少年交換委員会副委員長 東京足立 RC・増田 慎太郎様

今、大山副委員長のお話の通りで、次年度となりますと私が担当する年度になります。色々ご懸念や、気になる部分もあるかとは思いますが、引き続き交流させていただき、色々ご意見伺いながら、調整させていただければ非常にありがたく思います。

ゲスト・ビジター

- ゲストスピーカー・第 56 期 ROTEX
- ゲストスピーカー・第 57 期 ROTEX
- 今年度地区青少年交換委員会副委員長
- 次年度地区青少年交換委員会副委員長

- 杉村 友菜様
- 伊藤 摩耶様
- 大山 剛様
- 増田慎太郎様

誕生日祝い

- 4月26日 張 碧華会員
- 5月2日 中野 広行会員



ニコニコボックス

- 海江田会長 杉村さん、伊藤さん、本日の卓話楽しみにしております。よろしくお願いたします。
- 土居会員 青少年委員会の皆さん、ローテックスの皆さん、お茶の水 RC によろこそおいで下さいました。卓話楽しみにしています。
- 加藤会員 本日の卓話よろしくお願致します。本日も楽しく参りましょう！！
- 岡田会員 いよいよ神田祭です。10日神幸祭(しんこうさい) 11日町会神輿宮入です。
- 佐々木会員 お陰様で、先日金婚式を祝うことが出来ました。
- 高山会員 杉村様、伊藤様のお話しを楽しみにしています。
- 山田会員 地区大会おつかれ様でした。
- 山下会員 本日の卓話を楽しみにしています。

会長報告 海江田 健司会長

・米山記念奨学会より、山下会員に米山功労者(1回)の感謝状が届きました。



幹事報告 中野 広行幹事

- ・次週 5月7日の例会は休会です。次回の例会は5月14日、東京ドームホテルで開催いたします。今年度・次年度の合同理事役員会がありますので、関係者の方は11:30までにお集まりください。
- ・親子はねやすめへのご協力、ありがとうございます。

副会長報告 山田 丈夫副会長

- ・地区研修協議会報告でもお話ししましたが「もっと元気なクラブになろう」という資料を本日お配りしました。今まで気がつかなかったようなことも書いてあるので、是非参考にさせていただき、会員増強に繋げていければと思います。
- ・先日配布した次年度会員名簿の校正のお願いですが、提出が本日4月30日までとなっています。ご提出まだの方は早目に事務局にご提出ください。

地区研修協議会・奉仕プロジェクト部門の報告

永井 一史会員

今まで国内と海外に分かれていた地区の奉仕委員会が、海外と国内を合わせた「地区奉仕プロジェクト委員会」へ変わったとのこと。従って当日はまずは地区奉仕プロジェクト部門として委員長(相澤愛さん・練馬西 RC)が総合司会及び卓話をされ、次に国内奉仕と海外奉仕担当の二人の副委員長がそれぞれのプロジェクトの説明をしました。

計 17,000 円 累計 855,187 円

挨拶 今年度地区青少年交換委員会副委員長 東京武蔵野 RC・大山 剛様

お茶の水 RC さんに、次年度のスポンサークラブのお願いをしたく前回伺いましたが、こちらが解決しまして、次々年度にお願いするということになりました。

相澤委員長からは、奉仕活動というとな何をやればいいのか分からないというクラブが多いため、地区内のクラブの奉仕活動の実績をまとめて、各 RC へ連絡し、情報を共有するので参考にしてほしいとの話がありました。また奉仕活動報告会が、来年 5 月 26 日、損保会館で開催予定とのこと。また委員長より奉仕活動の 1 つの事例として、神田 RC とお茶の水 RC が 20 年前ぐらいに実施した、神田駅前のタバコポイ捨て禁止運動が千代田区の路上タバコ禁止条例に結びついたという成功例の話や、台東区での生の音楽を子ども食堂で開催した話があり、各 RC で頑張ってくださいとの話でした。

また、副委員長として国内奉仕の方は江北 RC の守谷さんから「足立区内の子ども食堂への支援の苦労と感動について」、海外奉仕の方は紀尾井町 RC の目代さんから「グローバル補助金を使って、バリ島のゴミ処理のためにボートを購入し、焼却場も作ってうまくいったので、是非、海外奉仕はグローバル補助金を使うように努力してください」という話がありました。

ロータリーの友 4 月号の紹介 加藤 文晴会員

1 番目を引いたのが「TKB 48」というキーワードです。自然災害が起きた時の防災の取り組みとして、この言葉に集約されています。T=トイレ、K=キッチン、B=ベッドで、これを 48 時間以内に設置することを目指した取り組みです。イタリアと日本の防災比較がされていますが、日本は非常に遅く、できていないというように私は思いました。

あと、米山梅吉記念館が 50 周年超えて、色々変わったそうです。我々でも記念館が使えるそうなので、ここで例会をやってもいいのかなと思いました。

ウクライナから来ている米山奨学生のレポートや、他に世界で色々な活動をされている方の話も出ていますので、読んでいただければと思います。

出席報告

会員数	36名	ゲスト	2名
出席	18名	ビジター	2名
ZOOM	1名	合計	23名

今後の予定

- 5/21 (水) (於)東京ドームホテル
未定
- 5/28 (水) (於)ブックハウスカフェ
千代田区立神田一橋中学校 校長
盛谷 樹様
- 6/ 4 (水) (於)東京ドームホテル
クラブ協議会「次年度事業計画の発表」
- 6/11 (水) 休会

ROTEX からみた青少年交換プログラム

第56期 ROTEX 杉村 友菜様・第57期 ROTEX 伊藤 摩耶様

本日は、青少年交換プログラムの概要、ROTEX とは、活動報告の3点をお話させていただきます。

■青少年交換プログラムの概要

ロータリー青少年交換プログラムは、15歳から19歳の青少年に1年間交換留学の機会を提供する「青少年奉仕活動」です。100以上の国でこのプログラムが行われており、現在まで95年間続いています。目的は、学生の国際理解、異文化理解と親善の心を育て、国境を越えた友情と信頼を築き、世界の平和を実現するリーダーを生み出すことです。

青少年交換委員会は、学生を取りまとめ、地区におけるイベントを企画、運営しています。月に1回青少年交換委員会を開き、学生の状況を共有し、問題解決案を話し合ったりしています。私達 ROTEX もこちらに所属しています。

当地区では、現在日本に来ている海外学生が10名、来年度に海外に派遣される日本人学生が沖縄に1人を含む、10名います。

具体的なプログラム内容は地区によって異なり、当地区では5年一貫のプログラムになっています。6月ごろに選考試験が行われ、合格した中高生は「派遣予定学生」となり、海外に派遣されるための準備を行います。その後2年目に「小さな親善大使」として海外に派遣されます。現地の学校に通い、ホストクラブ訪問や世界中から集まった交換留学生と交流をします。日本の文化や現地での生活についてプレゼンするなど、ロータリーの枠を超えた様々な活動を通じて、日本と派遣国の架け橋のような存在になれるように努力していきます。帰国してから3年間は、ROTEXとして活動します。活動は多岐にわたりますが、来日学生や派遣予定学生の生活や派遣準備のサポート、異文化交流促進のための活動の企画運営、青少年交換委員会のサポート、卓話活動をボランティアで行っています。

■ROTEX とは

学生に一番近い先輩としてプログラム全体のサポートを行っています。3年目のROTEXが執行代として主に活動を行います。現在は56期が執行代を務めています。ジャパンツアーやサマーキャンプ、フィールドトリップの行程は執行代により決定されるため年度によって異なりますが、来日学生と派遣学生が日本文化を学び、異なる価値観に対して理解を深めることやコミュニケーションを促進できるような場作りに努めています。

■活動報告

今年度初めての行事として、8月に10日間のサマーキャンプを所沢で行いました。来日学生は日本語の基礎を学ぶほか、風呂敷講座や書道体験、日本のアニメ映画鑑賞や商業施設での買い物、伝統的なうちわづくり体験などを通して、日本のポップカルチャーや伝統に触れ、最終日には日本語でのスピーチを行いました。派遣予定学生は、ロータリーやプログラムについて知ることや来日学生との関係作りの為に4日間のみ参加し、最終日には自分の興味関心について英語でスピーチを行いました。



昨年度の活動報告です。

9月には、米山委員会の方からお声かけをいただき、2580地区と2620地区の合同研修に参加しました。静岡県の柿田川の清掃と米山梅吉記念館訪問を行いました。今年度も、青少年交換プログラムの枠を超えた活動にも積極的に取り組んでいきたいと考えています。



続いて、茶道の稽古についてです。今日庵という由緒正しい場所でお稽古をしています。この稽古は当地区特有の活動で、ロータリアンさんや今日庵の方のご好意で続けさせていただいています。学生たちは日本の伝統的なもてなしができるようになり、帰国後や派遣中に家族や友人に茶道を披露する学生が沢山います。今年2月に行われた地区大会では、この学びを活かして呈茶席のお手伝いをする機会も頂きました。

2ヶ月に1度の頻度で行われるフィールドトリップでは、日程調整から行程作成までのすべてをROTEXが行います。昨年度は、10月は鎌倉、2月は中華街で1日遠足を、12月にはクリスマスパーティーを行いました。日本の伝統的な建造物をめぐる他、学生同士の交流促進のために、グループ行動させるなど工夫をしました。

12月には派遣生の派遣国が決定し、派遣生の気持ちの高鳴りがより感じられるようになります。学生が派遣国の言語でスピーチをする際には、その国から来ている来日学生に手伝ってもらうこともあります。

3月23日から31日にかけて、西日本を巡るジャパンツアーを実施しました。このツアーは、青少年交換プログラムの中でも最大のイベントであり、ROTEXメンバーが一丸となって、行き先の選定やホテルの手配、1日のスケジュールの企画・管理など、準備を進めてまいりました。今年度は静岡県を出発点とし、西日本を巡るルートで実施しました。広島では平和について語り合うディスカッションや宮島の訪問、愛知県では話題のジブリパークの見学、滋賀県では甲賀の里で忍者体験を行うなど、参加者が日本の多様な文化に触れることができる貴重な機会となりました。連日移動を伴うややハードなスケジュールではありましたが、来日生と派遣生たちの絆は一層深まり、10日間を通じて、かけがえのない思い出が生まれたことと思います。

本日はこのような卓話の機会をいただきましてありがとうございます。今後も青少年交換プログラムへのご協力をよろしくお願いいたします。

